

# 尾三地区自治体間連携について

愛知県日進市企画部企画政策課  
平成30年11月12日



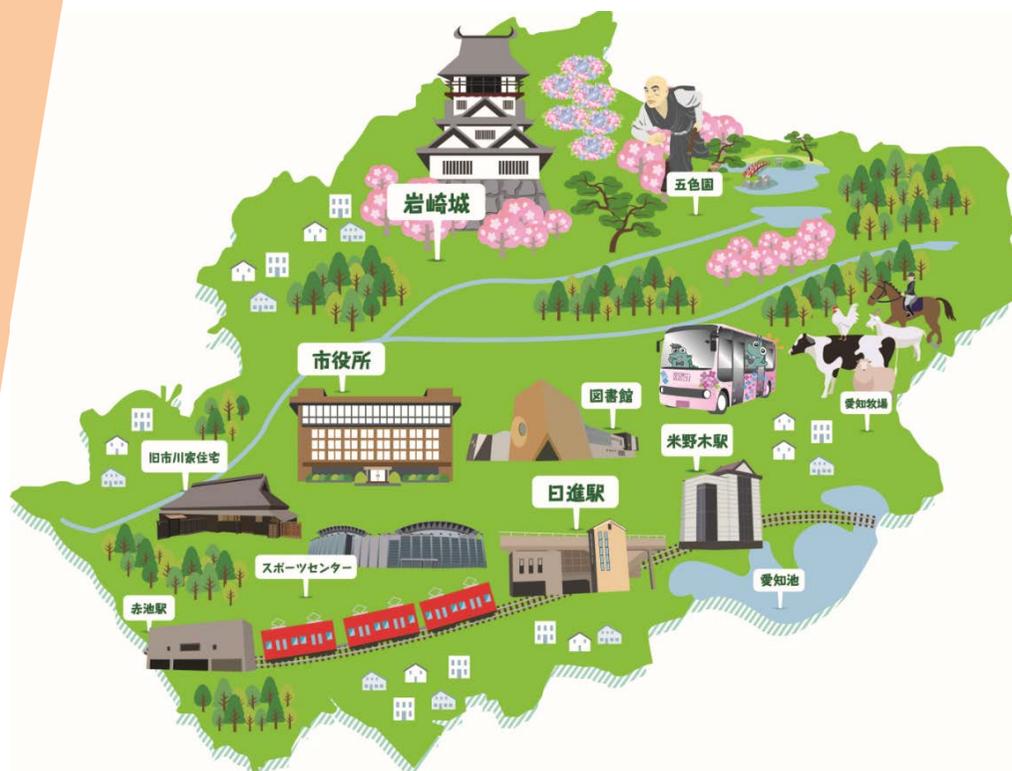
# 目次

---

- 1 はじめに
- 2 基本協定の締結
- 3 基本協定に基づく主な成果
- 4 推進体制
- 5 これまでの取組経緯
- 6 おわりに

# 1 はじめに（日進市のご紹介）

いつまでも暮らしやすい  
みどりの住環境都市

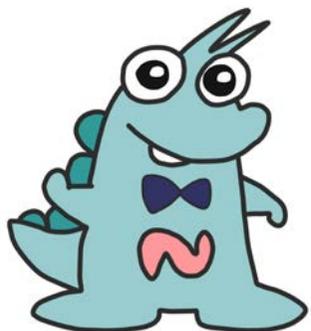


日進市は、愛知県のほぼ中央部である尾張と三河の境に位置し、西は名古屋東部、東は豊田市に隣接しています。

居住・就労にあたって恵まれた環境があることを背景に、土地区画整理事業等を進め、市街地の整備等に力をいれてきたことにより、2060年まで人口増加が続くことが予想されています。

また、東部には緑豊かな丘陵地があり、そこを源流とする天白川の流域には田園風景が広がり、古くからの街道の歴史とともに、四季折々の自然の美しさを感じさせてくれます。

さらに、市内には5大学が立地し、「日々進みゆく」の名にふさわしく、学園都市の顔を持つ大都市近郊のまちとして発展してきました。



日進市  
マスコットキャラクター  
ニッシー

» 面積	34.91 km <sup>2</sup>
» 人口	90,418人 (H30.10.1現在)
» 世帯数	36,610世帯 (H30.10.1現在)

# 1 はじめに（日進市のご紹介）



岩崎城址公園（岩崎城・岩崎城歴史記念館）

岩崎城は、室町時代の平山城であり、享禄年間（1528～1531）に築城されたと言われます。小牧・長久手の戦い（1584）で、300余命が討ち死にし、落城の悲運に遭いました。昭和62年に展望塔が建てられ、岩崎城の資料を始め日進市の歴史文化を展示した歴史記念館があります。



五色園

敷地20万坪の広大な宗教公園です。園内には、親鸞成人の生涯を再現した塑像があります。「五色園」とは、待つ、竹、梅、桜、紅葉の5種類の樹木にちなんでつけられたもので、その名のとおり四季折々の自然が楽しめます。園内には宿泊施設もあり、研修や合宿などに利用されています。

# 1 はじめに（日進市のご紹介）



レトロでんしゃ館

名古屋市内を走っていた市電と、昭和32年の名古屋市営地下鉄の開業時に走っていた地下鉄車両や台車が展示され、車内に入って見学することができます。そのほかにも、地下鉄の運転をゲーム感覚で体験できる地下鉄運転シミュレーター、地下鉄などの歴史が学べる資料検索コーナー、市電の歴史などを紹介する展示コーナーがあります。



愛知牧場

愛知池近くに広がる大牧草地。どうぶつ広場や乗馬などで動物と触れ合えます。牧場内で作られている牛乳、ソフトクリームとともに、バーベキューも楽しめます。

# 1 はじめに（尾三地区のご紹介）



自治体名	面積 (km <sup>2</sup> )	総人口 (人)
日進市	34.91	90,418
みよし市	32.19	61,254
東郷町	18.03	43,653
豊明市	23.22	68,706
長久手市	21.55	58,110

※平成30年10月1日現在



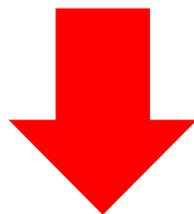
愛知県

尾三地区自治体間連携  
(4市1町)

# 1 はじめに

## なぜ今、広域連携が必要か

市の持つ経営資源（人・物・金・情報）は限られており、全てのニーズに応えるフルセットの行政サービスの提供や他市町村との過剰な都市間競争に陥ることにより、行政経営が疲弊することは避けなければならない。



- ◆平成24年2月  
第1回日進市議会定例会における市長施政方針

「私ども基礎自治体が今、問われているのは、『競争』ではなく『**連携**』」

「自治体間の連携協力について、協議や取り組みを進めたい」

## 2 基本協定の締結

### ◆平成26年1月 「尾三地区自治体間連携協力に関する基本協定」を締結

- ・協定締結市町：日進市、みよし市、東郷町、豊明市
- ・連携協力事項：（1）まちづくり及び地域の活性化に関すること。  
（2）地域資源の相互活用に関すること。

### ◆平成28年1月 「尾三地区自治体間連携協力に関する基本協定」を締結 （長久手市が新たに参加）



### 3 基本協定に基づく主な成果

#### 【平成26年度から共同実施】

- ◆ 尾三地区福祉施策連携会議の共同実施
- ◆ 広報紙へのイベント情報等の共同掲載
- ◆ 公共施設に共同情報コーナーの設置

#### 【平成28年度から共同実施】

- ◆ 航空写真撮影の共同実施
- ◆ 行政不服審査会の共同設置

#### 【平成29年度から共同実施】

- ◆ 消費生活センターの共同設置
- ◆ 職員派遣交流事業の共同実施

#### 【平成30年度から共同実施】

- ◆ 電力の共同購入
- ◆ 介護保険事業所の指定・指導監督事務の共同実施

# 3 基本協定に基づく主な成果

## 【平成26年度から共同実施】

事業名	参加市町	内容	メリット
尾三地区福祉施策 連絡会議	日進市 みよし市 東郷町 長久手市 豊明市	福祉サービス全般について、 広域連携に向けた協議や具体的 な検討を行う。	①情報やノウハウの共有 ②連携による業務の合理化
広報紙へのイベント 情報等の掲載	日進市 みよし市 東郷町 長久手市 豊明市	各市町の広報紙に尾三地区 情報コーナー「尾三だより」 を設け、各市町のイベント情 報等を掲載する。	住民同士の交流の活性化に寄与 
公共施設に共同情報 コーナー設置	日進市 みよし市 東郷町 長久手市 豊明市	各市町の公共施設に尾三地 区情報コーナーを設け、各市 町のイベントのチラシ等を置 く。	住民に対して各市町の情報 を広く周知 

### 3 基本協定に基づく主な成果

#### 【平成28年度から共同実施】

事業名	参加市町	内容	メリット
航空写真撮影	日進市 みよし市 東郷町 長久手市	課税対象となる土地及び家屋の把握等のために実施している航空写真撮影を共同で実施する。	①より高画質での撮影による品質の向上 ②契約等業務の一括化による事務の合理化 ③経費削減 削減額（4市町当初見込） 8,866千円
行政不服審査会設置	日進市 東郷町 豊明市	行政不服審査制度における裁決の客観性及び公正性を確保するために審査庁の判断をチェックする第三者機関である「行政不服審査会」を共同で設置する。	①専門的な委員を効率的に確保 ②事例の蓄積による過去の知見を活用した審査

### 3 基本協定に基づく主な成果

#### 【平成29年度から共同実施】

事業名	参加市町	内容	メリット
消費生活相談事業	日進市 東郷町	消費生活センターを共同で実施する。 場所：日進市役所2階 東郷町役場2階 相談日：週5回	①相談日の増加 日進市：週2日⇒週4日 東郷町：週1日⇒週2日 ②事例の蓄積
職員派遣交流事業	日進市 みよし市 東郷町 豊明市 長久手市	5市町で職員の相互派遣を行う。	①職員の資質向上 ②情報やノウハウの共有



### 3 基本協定に基づく主な成果

#### 【平成30年度から共同実施】

事業名	参加市町	内容	メリット
電力の購入	日進市 東郷町	公共施設を対象とした共同での電力購入を行う。	経費削減 ・平成30年度削減額 (2市町合計) 52,568千円
介護保険事業所の指定・指導監督事務	日進市 みよし市 東郷町 豊明市 長久手市	平成30年度から居宅介護支援事業所に係る事務が県から権限移譲され、市町の事務が増大することから、介護保険事業所の指定・指導監督業務を共同で実施する体制を整備する。	①業務の標準化 ②サービスの質の確保及び向上 ③業務の効率化

事業名	参加市町	内容	メリット
尾三消防組合の広域化	日進市 みよし市 東郷町 豊明市 長久手市	これまでの構成市町である日進市、みよし市及び東郷町に、豊明市と長久手市が加わり、5市町の広域消防として運用を開始する。	①サービスの向上 ②人員配備の効率化と充実 ③消防体制の基盤の強化

### 3 基本協定に基づく主な成果

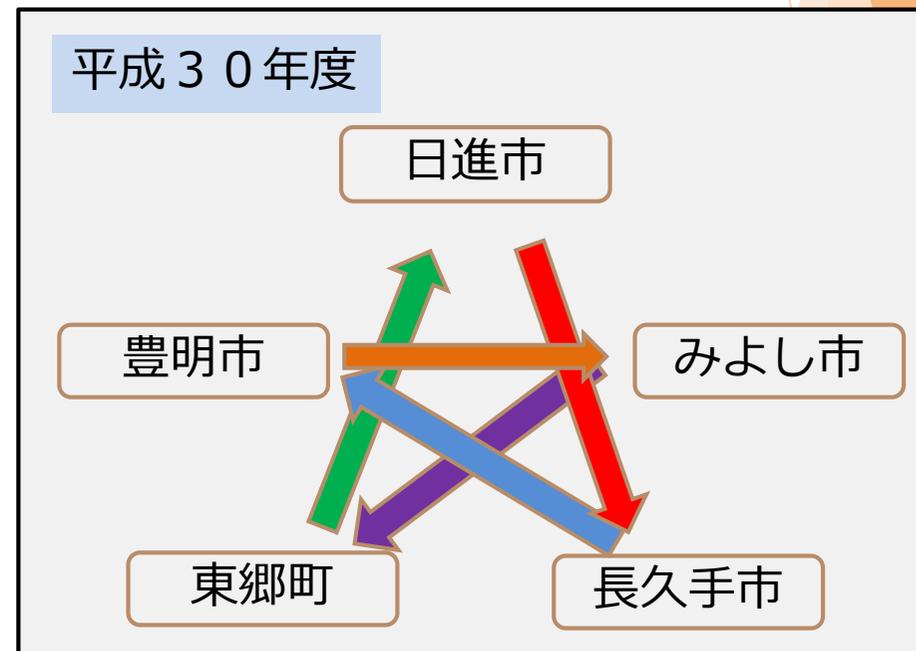
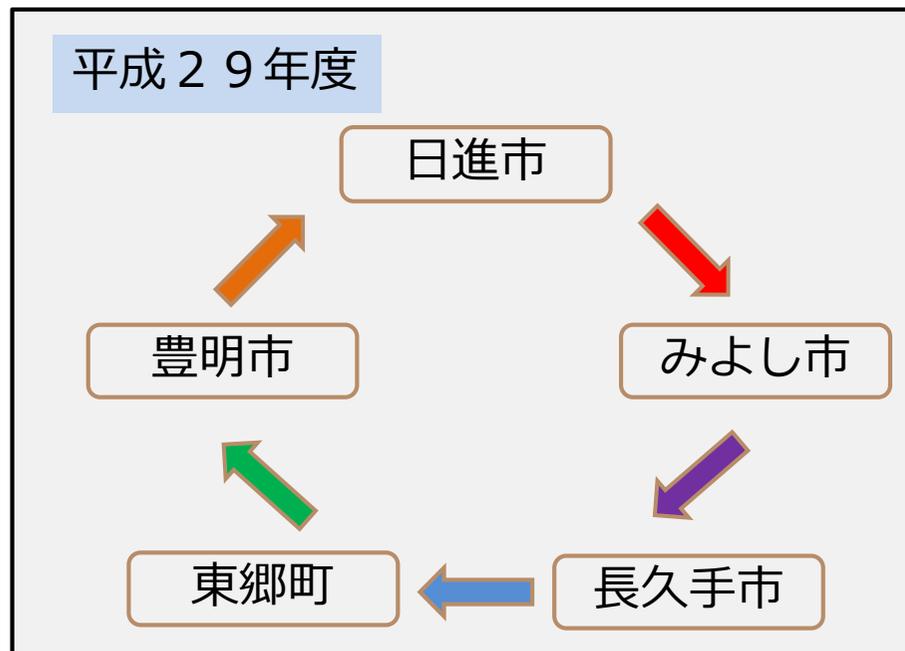
#### 職員派遣交流事業（平成29年度～）

- ▶▶ 派遣する職員  
各市町から若手職員1名ずつを相互に派遣
- ▶▶ 派遣期間  
1年間
- ▶▶ 派遣先所属（分野）  
産業振興、市民協働、環境、防災防犯、子育て、高齢福祉 など



#### 【職員の声】

- ・他団体の風土に触れる良い機会となりました。
- ・本市が活用していない補助金制度があることを知り、早速活用することとしました。



# 4 推進体制

## 【事務局】

- ・各市町の企画担当部署が事務局
- ・平成28年度以降は、幹事市は2年毎に持ち回り

年度	幹事市
H24~26	日進市
H27	東郷町
H28、29	日進市
H30、31	豊明市
H32、33	長久手市
H34、35	みよし市
H36、37	東郷町
以降、繰り返し	

首長会議

- 開催回数：年1回
- 構成メンバー：市長

副市長・副町長会議

- 開催回数：四半期ごとに開催
- 構成メンバー：副市長
- 備考：幹事市は1回毎に持ち回り

推進会議

- 開催回数：年2~3回程度
- 構成メンバー：企画担当部長、企画担当課長、愛知県派遣職員

## 【検討会議】

検討テーマ毎に、各市町の担当課による会議等を開催して検討

## 5 これまでの取組経緯

年月	取組概要
H 2 4 . 7 ~	<b>「尾三地区自治体間連携研究会」</b> を発足
H 2 5 . 8 ~	<b>「尾三若手職員自治体間連携事業研究グループ」</b> を設置
H 2 6 . 1	「尾三地区自治体間連携協力に関する基本協定」を締結
H 2 6 . 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>名称を <b>「尾三地区自治体間連携推進会議」</b> と改める。</li> <li>5市町で <b>10テーマについて連携の実現性を検討</b></li> </ul>
H 2 6 . 1 0 ~	<b>「尾三地区自治体間連携事業研究グループ」</b> を設置
H 2 8 . 1	「尾三地区自治体間連携協力に関する基本協定」を締結 (長久手市が新たに参加)
H 2 8 . 3	共同実施する事業の協定締結
H 2 8 . 4	5市町で <b>9テーマについて連携の実現性を検討開始</b>
H 2 8 . 1 1 ~	外部有識者による講義や先進自治体職員による研修会を実施
H 2 9 . 3	共同実施する事業の協定締結
H 3 0 . 3	共同実施する事業の協定締結
H 3 0 . 4	5市町で <b>4テーマについて連携の実現性を検討開始</b>

## 5 これまでの取組経緯

### 《参考》

日進市・みよし市・東郷町の2市1町においては、昭和40年代から、ごみ処理においては尾三衛生組合、消防においては尾三消防組合を組織し、広域的な共同事務処理を行っていた。

また、日進市・瀬戸市・尾張旭市・豊明市・長久手市・東郷町の5市1町では、平成23年度から成年後見センターを共同設置し、相談業務を行っていた。

### ◆平成24年7月～

#### 「**尾三地区自治体間連携研究会**」を発足

- ・参加市町 : 日進市、みよし市、東郷町
- ・構成メンバー : 企画担当部長、企画担当課長、愛知県派遣職員

#### 【平成24年度】

- ・4回の研究会を開催

※第4回研究会は広域課題研究運営事業（愛知県市町村課行政支援室）と同時開催

#### 【平成25年度】

- ・4回の研究会を開催

※第3回研究会以降、長久手市がオブザーバーとして参加

## 5 これまでの取組経緯

### ◆平成25年8月～

#### **「尾三若手職員自治体間連携事業研究グループ」を設置**

- ・ 検討事項 : 「防災」「福祉」「生涯学習」に関連する自治体間連携事業
- ・ グループ員 : 3市町の担当部署から1名ずつ (計9名)
- ・ 8月から12月までの間で6回のグループ会議を開催

### ▶ 主な施策提案の概要

#### » 尾三地区福祉施策連携会議の設置

福祉サービスに関する事業の共同実施の具体的な検討のため、連携会議を設置する。

#### » 尾三地区自治体間防災連携及び災害時相互応援に関する協定

平常時の防災連携及び災害発生時の相互応援について、具体的な取組事項をメニュー化した協定を締結する。

## 5 これまでの取組経緯

- ◆平成26年度～  
名称を「**尾三地区自治体間連携推進会議**」と改め、5市町で  
**10テーマについて連携の実現性を検討**

⇒平成26年度は4回、平成27年度は3回の推進会議を開催

【10テーマの概要】

事業名	
①防災協定の締結	②消費生活相談事業の共同実施
③航空写真撮影の共同実施	④旅券事務の共同実施
⑤個人番号カードの利用促進	⑥コミュニティバスの共同運営
⑦幹線道路網整備等に関する共同研究	⑧尾三地区福祉施策連絡会議
⑨（仮称）行政不服審査会の共同設置	⑩地域活性化施策の共同実施

※テーマ毎に、5市町の担当課による会議等を開催して検討

## 5 これまでの取組経緯

◆平成26年10月～

**「尾三地区自治体間連携事業研究グループ」**を設置

- ・ 検討テーマ：地域活性化施策の共同実施
- ・ グループ員：5市町から職員2名ずつ（計10名）
- ・ 10月から3月までの間で7回のグループ会議を開催

### ▶ 主な施策提案の概要

» 共同による住民協働祭（Aチーム）

住民協働祭を共同開催し、尾三地区のNPOや住民同士が交流できる場を設ける。

» 学生を中核とした地域活性化（Bチーム）

学生が自ら企画し、取材した尾三地区の隠れた魅力をガイドマップとしてまとめる。



## 5 これまでの取組経緯

### ◆平成28年度～

5市町で新たに9テーマについて連携の実現性を検討開始

⇒平成28年度は3回、平成29年度は2回の推進会議を開催

⇒共同実施に向けた検討を加速化するため、新たに「尾三地区自治体間連携副市長・副町長会議」を開催（平成28年度は4回）

#### 【9テーマの概要】

	事業名	内容
1	草ごみ・剪定木等の回収施設の共同設置	草ごみ・剪定木等の処理、堆肥化を共同で実施する。
2	尾三地区自治体間連携マップ作成事業	公共施設や名所などを掲載したエリアマップを作成する。
3	保育施設における重大事故の検証委員会の共同設置	保育施設における重大事故の検証委員会を共同で設置する。

## 5 これまでの取組経緯

	事業名	内容
4	技術系職員の共同研修及び育成機関の設置	技術系職員（土木、IT）の研修を合同で実施する。
5	生活支援体制整備事業の共同実施	生活支援コーディネーターの情報交換の場の設置、生活支援サポーター養成研修プログラムの検討を行う。
6	物品（消耗品）の共同調達	スケールメリットを活かして、物品（消耗品）の共同調達を行う。
7	介護保険等事業所の指定・指導監督事務の共同実施	権限移譲に伴う介護事業所指定及び指導監督事務を合同で行う。
8	情報システム共同研究会の設置	各市町が保有する情報システムの相互理解と課題の共通認識を深める。
9	公共施設のあり方に関する共同研究会の設置	公共施設の共同利用や維持管理のあり方を検討する。

※8・9については、長期的（4年を目処）に検討を進める。

## 5 これまでの取組経緯

### 情報システム共同研究会（平成28年度～）

#### 事業内容

- ・経費削減や災害対策などの観点から、自治体共同クラウドやオープンデータ事業等の実現を目指す。
- ・各団体が単独で調達している情報システム等を共同で調達することにより、スケールメリットを活かして経費削減を目指す。

#### 検討状況

- ・自治体共同クラウドの導入について
  - ⇒ 情報システム共同研究会において、現状の確認、課題の洗い出しを行い、導入に向けた意見交換を行っている。
- ・オープンデータの推進について
  - ⇒ 情報システム共同研究会から派生した「**オープンデータ検討会**」において、事業の推進を図っている。
- ・情報システム等の共同調達について
  - ⇒ 平成30年9月に日進市、東郷町の2市町で、後期高齢者医療用のパソコン4台の共同調達に向けて、実施協定を締結。  
現在、共同調達に向けて、入札事務等を行っている。

## 5 これまでの取組経緯

### オープンデータ検討会（平成28年度～）

尾三地区における5市町に加え、瀬戸市及び尾張旭市を含めた7市町で構成。オープンデータに関する情報共有や課題の整理を行うとともに、内容充実のため、実証実験などの調査を行う研究会。

平成28年度に「7市町連携オープンデータ推進に関する基本事項」を定め、平成29年7月末から7市町共通形式によるデータを公開するなど、オープンデータの推進を図っている。

#### 【「7市町共通整備項目」アイコン】

7市町共通形式により公開されているデータは、以下のロゴマークを表示



#### 【バスロケーションシステム（平成30年5月～）】

時刻表やルートデータをオープンフォーマット形式で公開し、県内で初めて、パソコンやスマートフォン、市役所などに設置した大型モニターでバスの運行状況や位置の情報を確認できるようにした。



## 5 これまでの取組経緯

- ◆平成30年度～  
5市町で新たに4テーマについて連携の実現性を検討開始

### 【4テーマの概要】

	事業名	内容
1	徴収事務の広域連携	滞納整理機構に代わる組織の設置検討や、学校給食費等の私債権及び非強制徴収債権に係る回収や放棄について、現状や今後の方向性の情報交換等を実施する。
2	校務支援システムの共同利用	全ての学校へ共通の校務支援システムを一括導入する。
3	都市計画基本図修正の共同利用	都市計画基本図の作成委託業務を共同で発注する。
4	会計年度任用職員運用の研究機関の共同設置	制度の研究と報酬の均一化を図ることで、事務の効率化を図る。

## 6 おわりに

---

できる**こと**を

できる**とき**に

できる**ところ**から

**ご清聴いただき、  
ありがとうございました。**

» 〒470-0192  
» 愛知県日進市蟹甲町池下268番地  
» 日進市役所 企画部 企画政策課

TEL 0561-73-3176 FAX 0561-73-8275

Mail [seisaku@city.nisshin.lg.jp](mailto:seisaku@city.nisshin.lg.jp)

